



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 308
November
2018

トピックス

メンバー国との防災 協力推進

アジア防災会議2018
(ACDR2018)の開催

●メンバー国との防災協力推進

アジア防災会議2018 (ACDR2018)の開催

ADRCは、加盟国および国際機関の防災専門家が参加する年次国際会議を日本政府との共催で開催し、情報共有を促進するとともに、参加国と組織間のパートナーシップを強化しました。アジア防災会議 (ACDR) 2018は、20年間に渡るADRCの国際防災協力の記念でもありました。アジア防災会議は10月30日から11月1日まで、兵庫県淡路島で25の加盟国、1つのアドバイザー国、オブザーバー、パートナーを含む118名の参加の元、過去20年間の活動を振り返るとともに今後の重点について意見交換しました。

ACDR2018は、内閣府米澤審議官の開会の辞に始まり、濱田ADRCセンター長がADRCの20年の活動を振り返るとともに最新のADRCメンバー国となったトルコを紹介し、Hamza TaşdelenトルコAFAD副長官がADRC加盟の抱負を述べました。

DRR特別セッションは内閣府佐谷参事官を議長とし、すべてのメンバー国からそれぞれの課題と現在の取り組みが述べられ、4つの共通問題が明らかにされました。(i)人材育成、(ii)民間を含むデータ収集、(iii)計画、政策、プログラムにおける防災主流化、(iv)自治体活動を含むコミュニティ強化の取り組み。

基調講演では中央大学山田教授が地球温暖化に伴う「不確実性」と防災の新しいパラダイムを強調しました。洪水からの浸水を予測する新しい「確率的」モデル等、今後の防災戦略とプログラムが、災害の変化に合わせた新しい対応を考慮すべきであることを意味します。



アジア防災会議2018 於：淡路夢舞台

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
<http://www.adrc.asia>

© ADRC 2018

続き

ACDR2018で取り上げられた主なトピックは次のとおりです。

- 1.国境を越えた災害に対する地域協力
- 2.世界的な災害データの強化
3. ADRC客員研究員制度を含む人材育成制度
- 4.宇宙技術と防災促進のための実用的ソリューション

セッション1では、災害が国境によらないことから、大規模な災害対応の経験共有、共同捜索救助、早期警戒、情報共有、共同教育、共同訓練、災害時援助等地域協力のメリットが確認されました。

セッション2では、災害データ収集の課題に取り組む際の留意事項として、政治的課題に取り組むために国家防災機関がSDGと協力すること、技術的課題に取り組むために国連機関が共通モニタリング方針を策定すべきこと、能力格差を解消するために災害データに関連するGLIDE、GCDS、遠隔教育等利用可能なすべてのツールおよびガイダンスにアクセスできるようにすることが確認されました。そして、仙台防災枠組の指標をモニタリングするためのボランティアベースのネットワーク形成を、来年5月に開催される防災グローバルプラットフォームに向けて形成することを推奨しました。

第3セッションでは、ADRC客員研究者プログラムを強化することにより、各国の防災活動を更に高めることが推奨されました。また、地域の研修機関がニーズや状況に応じて研修プログラムを提供する様々な実践的な方法を模索することを検討するよう提案しました。今後DRRの主流化や防災投資、残存リスクの総合的アプローチを推進するためメンバー国の能力をさらに強化することが推奨されました。

第4セッションでは、Sentinel AsiaがDRRに貢献してきたことを再確認し、更にリアルタイムでの衛星利用が早期警戒に役立つこと、また、DRRを促進する様々なソリューションを確認しました。

更に、サイドイベントとして震災対策技術展、JICA主催の「2020年に向けた国及び地方の防災戦略／計画策定促進ワークショップ」、UNESCAP主催の「障害を包括する防災に関する国際フォーラム」、センチネル・アジアJPTMが開催され、多くの参加者の情報共有とネットワーク化の機会となりました。

ACDR2018は質の高い発表と積極的な参加者のおかげで盛会となりました。発表資料やサマリー等は以下からご覧ください。 (http://www.adrc.asia/acdr/2018_index.html)

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。